

令和2年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 名称 東京都立総合芸術高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局 主任教諭（総務部主任）＝事務局長、経営企画室長 計2名
- (3) 内部委員
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務部）、主任教諭（総務部）、主任教諭（美術科）、主任教諭（舞台表現科）、主任教諭（音楽科） 計8名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者 舞台表現演劇（東京芸術劇場副館長 高萩 宏 氏）
舞台表現舞踊（お茶の水女子大学名誉教授 片岡 康子 氏）
音楽（昭和音楽大学教授・音楽科長 山下 哲 氏）
近隣中学校長（新宿区立新宿中学校長 片倉 元次 氏）
地域住民代表（東京都民生委員、児童委員 御所窪 和子 氏）
保護者代表（保護者と学校の会会長 梅田 雅美 氏） 計6名

2 令和2年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
第1回 令和2年5月22日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、書面開催
・学校経営計画、昨年度の学校経営報告
第2回 令和2年10月13日（金） 内部委員8名、協議委員6名
・これまでの教育活動に関する報告
・協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
第3回 令和3年3月4日（木） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、書面開催
・これまでの教育活動に関する報告
・協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の結果報告及び学校運営に対する提言、協議
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
令和3年3月4日（木） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、書面開催
・アンケート集約結果の分析、考察、課題の整理、協議、次年度へ向けて

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・11月	全校生徒	対象：475人	回収：458人	回収率：97.5%
・12月	保護者	対象：475人	回収：325人	回収率：65.0%
・12月	地域・住民	対象：40人	回収：28人	回収率：57.5%
・12月	教職員	対象：56人	回収：56人	回収率：100%
- (3) 主な評価項目
・学校生活満足度、学習指導、生活指導、進路指導、学校行事、生徒会活動、施設・設備など
- (4) 評価結果の概要と分析、考察
・学校評価アンケートの回収率は、例年並みである。
・保護者から、三科が交流して取り組む授業や行事を増やしてほしいという要望が強い。
・地域から学校の教育活動がわからないとの声が多く寄せられたことを受け、学校紹介の資料配布など情報発信を引き続き行い、アンケート回収率は昨年並みの数値を維持した。
・特に保護者から、普通教科の指導に対しての要望が強く、多い。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
・本校は都立で唯一の芸術に特化した学校として開校し、昨年創立十周年を迎えた。美術科、舞台表現科、音楽科それぞれが展覧会や発表会、公演等を通じて大きな成果をあげ、対外的にも高い評価を得ることができ、学校の注目度は高い。

- ・各科の専門的な指導には生徒のモチベーションも高く、保護者の要求水準も高い。
- ・一方、今年度は発表活動が大きく制限され、発表活動を中心に学習に大きな影響があった。
- ・進学の実績も多岐にわたるとともに、生徒が各々の専攻を生かした進路を目指し、将来に期待が持てる状況にある。
- ・入学者選抜においても、受検生の応募者数は高倍率を維持し、中学生にとって魅力のある学校として存在感を確立している。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・生徒の顕著な夜型の生活を見直し、基本的な生活習慣を確立することが重要である。慢性的な睡眠不足が課題である。また、家庭学習の時間を確保し、自ら普通教科の学習に意欲的に取り組む習慣が必要である。
- ・大学受験でも必要な普通教科の学習を充実させるためには、どんな効果的な方法があるか各教科で検討する。
- ・年間行事計画等にみられる学校としての課題について、時間講師や市民講師の意見を取り入れながら検討する必要があること。
- ・感染症に留意し、安全を最優先に確保しながら出来る活動を探っていく必要がある。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

生徒の学校評価から、学校生活の肯定的評価を高められるような取組を目指す。

(2) 学習指導

中期的目標及び次年度の取組目標として、普通教科の学力向上対策を明記して取り組む。

(3) 特別活動

中期的目標に、他の芸術分野の理解と他科の生徒と協働できる取組を明記して取り組む。

(4) 生活指導

中期的目標及び次年度の取組目標に、マナーや規範意識の向上、礼儀作法や身だしなみに留意させるとともに、SNS等のインターネットに関するルール（学校ルール、東京ルール）の指導を徹底する。

(5) 進路指導

今年度の進路決定率を維持し、さらなる向上を図る。

(6) 健康・安全

- ・基本的な生活習慣の確立とその定着を図る。
- ・生徒の健康や安全管理に配慮し、いじめや自殺防止のための取組を推進する。また SNS 等の安全な利用について指導する。
- ・引き続き徹底した感染症対策を行い、安全で安心できる学習環境を維持していく。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 6人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
3	1	1			1	

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

なし